

# 芸術学部 パフォーミング・アーツ学科

## 1 カリキュラム・ポリシー

- パフォーミング・アーツ学科では、演劇・舞踊・音楽の上演芸術の学びを通じて、人間関係力（コミュニケーション）、異種混合結合力（コーディネーション）、創造構想発信力（プロデュース）などの豊かな資質と能力を備えた、アートで社会をつなぐプロフェッショナルを養成する。この目的を達成するため、カリキュラムを次の4つの方針に従って編成している。

### 教育課程の編成

- ① 上演芸術全般（演劇・舞踊・音楽・舞台技術・企画運営）の基礎教育を重視し、各分野の基礎科目を必修とする。
- ② 豊かな芸術的感性と公共性、倫理性を育成する。
- ③ 諸団体や地域との連携を強化し、社会の求める上演芸術に積極的に関与できる力を育成する。
- ④ 英語の「読む、書く、聞く、話す」4技能の発展を重視する。

### 教育課程の実施

- ① 多様な教育方法を用いて学生の主体的、能動的な学びを引き出す。
- ② ディスカッションや協働して取り組む学修など双方向性を確保した教育を実施する。
- ③ 学修内容を確実に修得できるように、学修支援体制を柔軟に実施する。
- ④ 情報通信ネットワーク（ICT）を活用し、柔軟な教育方法を展開する。
- ⑤ 学修ポートフォリオを導入し学習過程や成果を指導に活用する。
- ⑥ 専門教育と関連付けて、日本語および外国語コミュニケーション能力の向上を図る。
- ⑦ 本気で学ぶ力、社会で通用する力が身につくように、指導と厳格な成績評価をおこなう。

- なお分野ごとの標準的な学修内容は後述する「履修モデル」によって示されています（p.176～177参照）。

## 2 卒業要件

パフォーマンス・アーツ学科では、以下の6つの条件を卒業要件として定めています。

- (1) 修業年限を満たすこと
- (2) 全科目の修得単位の合計が124単位以上であること
- (3) 卒業時の累積GPAが2.00以上であること
- (4) ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること  
〈必修科目〉 玉川教育・FYE科目群：「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」  
〈必修選択科目〉 人文科学科目群：「音楽史」または「演劇史」のいずれか1科目（2単位）  
「音楽理論」または「演劇理論」のいずれか1科目（2単位）  
言語表現科目群：「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」より2科目（8単位）
- (5) ユニバーシティ・スタンダード科目の各科目群より、上記（4）で示した必修および必修選択科目の単位を含む、次に指定する単位数を修得していること  
人文科学科目群：2単位以上      社会科学科目群：2単位以上  
自然科学科目群：2単位以上      学際科目群：4単位以上  
言語表現科目群：8単位以上  
以上計18単位以上。
- (6) 学科科目について、次の必修科目および必修選択科目を修得していること  
100番台科目より：  
〈必修科目〉 「パフォーマンス概論」「身体表現Ⅰ」「音楽表現Ⅰ」  
「舞台技術・企画構想Ⅰ」「パフォーマンスⅠ」「パフォーマンスⅡ」  
200番台科目より：  
〈必修科目〉 「パフォーマンスⅢ」  
〈必修選択科目〉 「身体表現Ⅱ」「音楽表現Ⅱ」「舞台技術・企画構想Ⅱ」の3科目より2科目（8単位）  
「身体表現Ⅲ」「音楽表現Ⅲ」「舞台技術・企画構想Ⅲ」の3科目より2科目（8単位）  
300番台科目より：  
〈必修選択科目〉 「身体表現上級Ⅰ」「音楽表現上級Ⅰ」「舞台技術上級Ⅰ」「企画構想上級Ⅰ」の4科目より1科目（4単位）  
「身体表現上級Ⅱ」「音楽表現上級Ⅱ」「舞台技術上級Ⅱ」「企画構想上級Ⅱ」の4科目より1科目（4単位）

## 3 履修上の留意事項

- 学科科目で、科目名にローマ数字の記載のあるもの、またそのほかに教育課程表中に指定のある科目を履修するためには、必ず事前ガイダンスに出席しなければなりません。

## 4 取得可能な資格

- パフォーマンス・アーツ学科では所定の科目の単位を修得し、また所定の条件を満たすことで、次の資格を取得することができます。

### ■ 学芸員

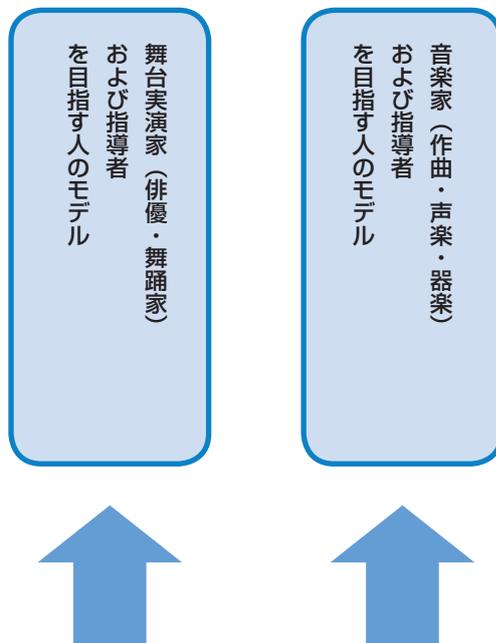
本履修ガイドp.230～231の「学芸員」を参照してください。

### ■ その他の資格および修了証

本履修ガイドp.221の「取得できる各種資格・修了証一覧」を参照してください。

- \* 複数の免許・資格・修了証の同時取得については、4年間の在学で可能なものとそうでないものがあります。詳細は随時行われるガイダンスの内容を参照してください。

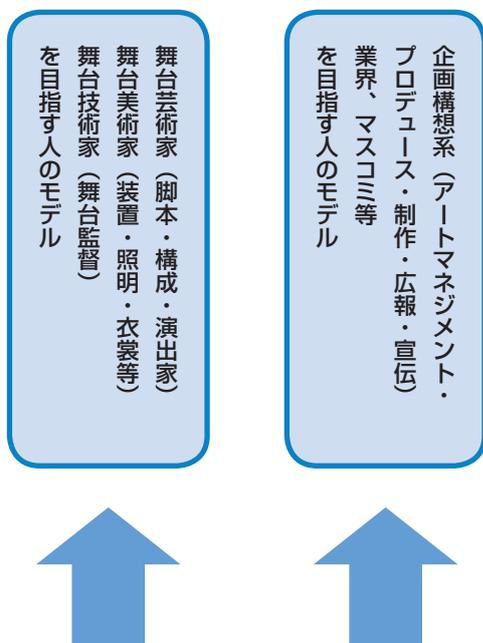
## 5 パフォーミング・アーツ学科 履修モデル



400 番台	4年次	秋	身体表現上級Ⅳ ④	音楽表現上級Ⅳ ④	選択	パフォーマンスⅧ ②	選択
				卒業創作・公演・演奏・論文 ②		～認定可～	
	4年次	春	身体表現上級Ⅲ ④	音楽表現上級Ⅲ ④	選択	パフォーマンスⅦ ②	選択
					～認定可～		
300 番台	3年次	秋	身体表現上級Ⅱ ④	音楽表現上級Ⅱ ④	1科目必修	パフォーマンスⅥ ②	選択
				～認定可～		～認定可～	
	3年次	春	身体表現上級Ⅰ ④	音楽表現上級Ⅰ ④	1科目必修	パフォーマンスⅤ ②	選択
				～認定可～		～認定可～	
200 番台	2年次	秋	身体表現Ⅲ ④ 音楽表現Ⅲ ④	音楽表現Ⅲ ④ 舞台技術・企画構想Ⅲ ④	2科目必修	パフォーマンスⅣ ②	選択
				～認定可～		～認定可～	
	2年次	春	身体表現Ⅱ ④ 舞台技術・企画構想Ⅱ ④	音楽表現Ⅱ ④ 身体表現Ⅱ ④	2科目必修	パフォーマンスⅢ ②	必修
100 番台	1年次	秋	舞台技術・企画構想Ⅰ ② 音楽表現Ⅰ ②	身体表現Ⅰ ② 舞台技術・企画構想Ⅰ ②	全科目必修	パフォーマンスⅡ ②	必修
	1年次	春	身体表現Ⅰ ② PA概論 ②	音楽表現Ⅰ ② PA概論 ②		パフォーマンスⅠ ②	必修

※科目名のあとの丸数字は単位数

※認定についてはレベルチェックを行います。



400番台	4年次	秋	舞台技術上級Ⅳ ④	企画構想上級Ⅳ ④	選択	パフォーマンスⅧ ②	選択	
			卒業創作・公演・演奏・論文 ②				～認定あり～	
	4年次	春	舞台技術上級Ⅲ ④	企画構想上級Ⅲ ④	選択	パフォーマンスⅦ ②	選択	
						～認定可～		
300番台	3年次	秋	舞台技術上級Ⅱ ④	企画構想上級Ⅱ ④	1科目必修	パフォーマンスⅥ ②	選択	
			～認定可～	～認定可～		～認定可～		
	3年次	春	舞台技術上級Ⅰ ④	企画構想上級Ⅰ ④	1科目必修	パフォーマンスⅤ ②	選択	
			～認定可～	～認定可～		～認定可～		
200番台	2年次	秋	舞台技術・企画構想Ⅲ ④ 身体表現Ⅲ ④		2科目必修	パフォーマンスⅣ ②	選択	
			～認定可～			～認定可～		
	2年次	春	舞台技術・企画構想Ⅱ ④ 身体表現Ⅱ ④		2科目必修	パフォーマンスⅢ ②	必修	
100番台	1年次	秋	音楽表現Ⅰ ② 身体表現Ⅰ ②		全科目必修	パフォーマンスⅡ ②	必修	
	1年次	春	舞台技術・企画構想Ⅰ ② PA概論 ②			パフォーマンスⅠ ②	必修	

※科目名のあとの丸数字は単位数

※認定についてはレベルチェックを行います。